としょのかぜ

宇部市立藤山小学校
図書館だより
令和８年11月号

図書委員による読み聞かせが実施されました



本番前に最後の練習中です。息を合わせて・・・。



放送中。リラックスして読めたかな？

秋の読書週間に合わせて図書委員による絵本の読み聞かせがお昼の放送時に実施されました。「かさじぞう」、「三まいのおふだ」など、昔ながらの懐かしい物語がたくさん登場しました。

10 月の図書委員会で読む絵本を決め、時間がある時にコツコツとペアで練習し、本番を迎えました。絵本の選定にあたっては、低学年にわかりやすい、5 分以内に読み終えることのできる物語を精選しました。声の大きさや間の取り方などにも工夫を重ねて練習してきました。

図書委員が読んだ絵本はコーナーを作り、掲示する予定ですので是非図書室にどうぞ。

学校図書館クイズ

「したきりすずめ」の物語で、**おばあさん**が選んだ箱には何が入っていたでしょう？

（答えは図書室入口付近に掲示してあります。答えを探してみてくださいね。）

学校図書館コラム

終戦と学校図書館

第二次世界大戦が激しくなる中、1945 年、東京の浅草、両国、東駒形などの図書館が空襲により消滅してしまいます。同年、広島・長崎に原爆が投下され、日本は終戦を迎えます。

明治以降、日本の学習指導は個性や創造性を尊重するものではなく学校図書館の存在も影をひそめていました。しかし終戦後は、児童・生徒の個性を尊重していこうとする「新教育」の理念が明示され、個性をのばし、創造性を育てていくためには学校図書館が必要であるという考え方が広まります。1945年以降、アメリカをモデルとした学校図書館づくりが活性化していくことになります。

（出典： 日本図書館協会編/1993『近代日本図書館の歩み』篇 日本図書館協会 pp.359-396）